

一般社団法人 日本専門医機構
第6期第6回理事会 議事概要

1. 開催日時 2024年11月15日（金） 16時00分～18時17分
1. 開催場所 日本専門医機構会議室（会場およびWEB会議）

I. 第6期第5回理事会（10月18日開催）議事録の確認

渡辺理事長より、第6期第5回理事会（10月18日開催）の議事録の確認が行われ、問題がある場合は申し出て頂くこととした。

II. 協議事項

1. 専門医認定・更新委員会

(1) 機構専門医認定・更新二次審査について

（新規）基本領域認定審査：内科、放射線科、麻酔科、耳鼻科、救急科、泌尿器科

（新規）サブスペシャルティ領域認定審査：放射線診断、放射線治療

（更新）：皮膚科、救急科、整形外科／休止：眼科

森理事より、機構の定めた認定基準に基づき学会の一次審査に合格した内科（2024年度196名、2023年度3名）、放射線科（232名）、麻酔科（269名）、耳鼻咽喉科（246名）、救急科（298名）、泌尿器科（301名）の専攻医について、委員会での二次審査の結果、機構認定専門医として新規認定したことが報告され、承認された。

また、専門医の更新についても機構の定めた基準に基づき学会の一次審査に合格した皮膚科（376名）、救急科（1,039名）、整形外科（2024年度6名）の専門医について、委員会での二次審査の結果、機構認定専門医として承認したことが報告され、認定が承認された。皮膚科（6名）、救急科（9名）、眼科（1名）の専門医の更新休止についても諮られ、承認された。

さらに、機構の定めた認定基準に基づき学会の一次審査に合格した放射線診断（163名）、放射線治療（45名）の専攻医について、委員会での二次審査の結果、機構認定サブスペシャルティ領域専門医として新規認定したことが報告され、承認された。

(2) サブスペシャルティ領域認定証について

森理事より、サブスペシャルティ領域認定証の体裁について、理事長名・公印の掲載は日本専門医機構のみとし、関係する学会名は文中に列記する案が諮られ、承認された。

(3) 救急科更新基準改訂案について

森理事より、救急科領域の専門医更新基準の改訂案について諮られ、承認された。

2. 専攻医募集方法に関する検討ワーキンググループ

(1) シンポジウムの実施について

北村理事より、「地域偏在、診療科偏在と専攻医募集方法の将来的な可能性について」をテーマとし、専攻医募集へのコンピュータマッチング導入の可能性を探るシンポジウムを開催することが提案され、承認された。

3. サブスペシャルティ領域検討委員会

(1) 領域名について（血液専門医、腎臓専門医）

江口理事より、専門医名称について、血液内科専門医を血液専門医、腎臓内科専門医を腎臓専門医に変更したそれぞれの領域で、領域名も血液内科領域から血液領域、腎臓内科領域を腎臓領域に変更したいという要望が出ていること、専門医名称変更から現在までの経緯、この件に関して厚生労働省に確認を行った結果が説明された。

議論の後、本件領域名の変更を認めることが諮られ、承認された。

4. 総合診療専門医検討委員会

(1) プログラム管理システムの構築について

生坂氏（総合診療専門医検討委員会委員長）より、総合診療専門研修プログラム管理システムの構築にあたって、医学系システムの実績を有する3社のベンダーに見積を依頼したこと、総合診療領域専攻医の症例登録システムであるJ-GOALを担当している日本コンベンションサービス株式会社に依頼するのが適切であると判断したことが諮られ、承認された。

Ⅲ. 報告事項

1. 各種委員会報告

(1) 倫理委員会

北村理事より、3月11日に実施した甲南医療センター内科プログラムに対するサイトビジットに関して、今後のスケジュールの報告が行われた。なお、本報告書は機密文書扱いとすることから、本議事録においても議論内容を含め詳細な記載は行わないこととする。

(2) 専門研修プログラム委員会

岡田理事より、耳鼻咽喉科領域2件、泌尿器科領域4件、救急科領域1件、産婦人科領域2件、麻酔科領域11件の連携施設追加を認めたこと、このうち11件が申請漏れであり、9件が教育内容充実のためであったことが報告された。また、新規開設された施設の追加申請1件を認めたことが併せて報告された。

(3) 専攻医募集方法に関する検討ワーキンググループ

北村理事より、10月29日に2024年度第2回専攻医募集方法に関する検討ワーキンググループを開催し、厚生労働科学特別研究事業のシーリング効果検証の結果を受けて議論を進めていること、本日の協議事項にも上がった、関係者の理解を得るためのシンポジウム開催を企画していることが報告された。

(4) 専門医認定・更新委員会

森理事より、10月3日に開催された2024年度第4回専門医認定・更新委員会を行ったことが報告され、同委員会の議事録が示された。

(5) 生涯学修委員会

渡辺雅彦理事より、10月30日に2024年第3回生涯学修委員会を開催し、APRINが提供する教材、省庁や各種公共団体等が主催する講習会をe-ラーニングと認めるか、共通講習e-ラーニングをMR研修に使用することを認めるかについて議論を進めたことが報告された。

(6) サブスペシャルティ領域検討委員会

江口理事より、11月1日に2024年第7回サブスペシャルティ領域検討委員会を開催し、既認定領域および新規申請領域の整備基準案の審査を進めていることが報告された。

(7) 総合診療専門医検討委員会

飯野理事より、10月22日に第3回総合診療専門医検討委員会を開催し、プログラム管理システム構築のベンダー選定について、医療資源の乏しい地域における履修不足者への対処について、活動休止申請についての3点を主に議論したことが報告された。

(8) 地域医療・定員問題検討委員会

渡辺理事長より、前回の理事会に諮られた「厚生労働大臣から日本専門医機構への意見及び要請についての回答」に、1ヶ所、表現の修正を行った上で、提出したことが報告された。

(9) 広告表示検討ワーキンググループ

江口理事より、10月22日に2024年第1回広告表示検討ワーキンググループを開催し、同ワーキンググループの役割について確認して、議論を開始したことが報告された。

(10) 必要専門医数検討ワーキンググループ

齊藤副理事長より、本日（11月15日）本ワーキンググループにおける基本領域学会との面談を終了したこと、今後それぞれの領域の特性および横断的な課題についてとりまとめて、理事会に対して情報提供する予定であることが報告された。

2. 専攻医登録状況について

渡辺理事長より、2025年度専攻医一次募集の登録（応募）状況について、本日11月15日現在で、応募者総数が8,994名であったことが報告された。なお、昨年度の同応募数は8,680名であった。

3. 令和6年度第1回臨時社員総会開催について

渡辺理事長より、令和6年度第1回臨時社員総会を、2025年2月27日（木）14時30分～16時開催予定であることが報告された。議題は来年度の事業計画と予算である。

4. 講演報告

渡辺理事長より、11月4日、第77回日本胸部外科学会定期学術集会のパネルディスカッションに、渡辺理事長、滝田理事、江口理事の3名が演者として登壇したことが報告された。

5. その他

(1) 医療施設運営費等補助金交付要綱の一部改正について

福原理事（財務委員会委員長）より、厚生労働省の医療施設運営費等補助金交付要綱の一部改正について、令和6年度同補助金の当機構宛て交付基準額が2億6,086万8,000円となったこと、申請可能上限額は交付基準額の1/2の1億3,043万4,000円であること、現在交付申請の準備を行っていることが報告された。

(2) 次回（11月19日）定例記者会見について

浅井理事（広報委員会委員長）より、次回の定例記者会見を11月19日に開催する予定であったが、現時点で報告できる項目がないことから、開催を見送ることが提案され、承認された。

(3) その他

特になし。

IV. その他

理事・監事以外の出席者（事務局、オブザーバー）は退席したうえで、渡辺理事長から、前回（10月18日開催）理事会報告以降における現事務局長の処遇および調査に関するその後の経過報告があった。

今後の会議予定

- ・第6期第7回理事会：2024年12月20日（金）16時00分～18時00分

以上